

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-40745  
(P2004-40745A)

(43) 公開日 平成16年2月5日(2004.2.5)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F I	テーマコード (参考)
H04Q 7/34	H04B 7/26 106A	5H180
G08G 1/09	G08G 1/09 H	5K067
G08G 1/16	G08G 1/16 A	
	H04Q 7/04 C	

審査請求 有 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号	特願2002-227980 (P2002-227980)	(71) 出願人	500342525 須藤 剛 青森県黒石市京町22
(22) 出願日	平成14年7月1日(2002.7.1)	(72) 発明者	須藤 剛 青森県黒石市京町22
		Fターム(参考)	5H180 AA01 AA21 AA25 AA26 AA27 BB05 CC12 LL04 LL07 LL09 5K067 BB04 CC08 EE02 EE10 HH23 JJ52 JJ56

(54) 【発明の名称】 無料・格安通信ネットとGPS利用の交通安全システム

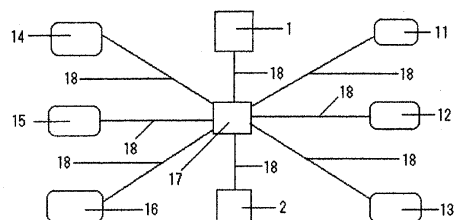
(57) 【要約】

【目的】 無料、もしくは格安で通信の出来る携帯電話とPHSインターネット。GPSを利用し交通事故や海難事故などの災害を未然に防ぐ。

【構成】 携帯電話、PHSのトランシーバー機能、もしくはIP(インターネット・プロトコル)を利用し、ルーター内臓のPHS、携帯電話、付属品とルーターを基地局として直接使いインターネットの接続を行なう。

GPSを自動車、バイク、自転車、飛行機、船、列車などの交通機関に設置し、それらのGPSから無線でネットワークに送信し、各交通機関の種類と位置、移動速度、加速度、移動距離、平均速度、移動パターンから以降の到達地点を予測し、事故を未然に防ぐ。

【選択図】 図2



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

携帯電話、PHSのトランシーバー機能、もしくはIP（インターネット・プロトコル）を利用し、ルーター内蔵のPHS、携帯電話、付属品とルーターを基地局として直接使いインターネットの接続を行ない、大規模な通信社の中継局やプロバイダーを必要としない通信無料・格安のネットワークシステム

## 【請求項 2】

GPSを自動車、バイク、自転車、飛行機、船、列車などの交通機関に設置し、それらのGPSから無線でネットワークに送信し、各交通機関の種類と位置、移動速度、加速度、移動距離、平均速度、移動パターンから以降の到達地点を予測し、それらの交通機関が衝突、もしくは接触する可能性がある場合は警報音、エンジン停止、緊急ブレーキ、針路変更などの安全装置が働き、事故を未然に防ぐ。

10

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

PHS、携帯電話、付属品にルーターを内蔵し基地局として直接使う

## 【0002】

プロバイダーを直接利用しないネットワークシステム

## 【0003】

PHSのトランシーバー機能をネットワーク化し複数の機器を経由して目的の相手に送信する。

20

## 【0004】

すべての交通機関にGPSを設置し、そのデータを無線で送信して大型コンピュータで種類と位置、移動速度、加速度、移動距離、平均速度、移動パターンから以降の到達地点を予測する

## 【0005】

上記の到達地点が重なる場合は双方の交通機関に無線で、そのデータを送信し、交通機関に設置されたコンピューターが事故回避する

## 【産業上の利用分野】

自動車、バイク、自転車、飛行機、船、列車、未来の浮上移動型自動車や光子エンジン移動物体、プラズマ移動物体などの交通機関に利用できる。

30

インターネットや携帯電話の通信が完全無料になる

## 【従来技術】

プロバイダーや通信会社が必要で接続料金が掛かる。

従来電話は、1通話ごとに1回線を占有する。

従来GPS装備車などは受信して位置を確認するだけ。

## 【発明が解決しようとする課題】

現在、迷惑メールによるユーザーの損害が社会問題になっている。

交通事故や今後の高速交通システムの安全性が経済を左右する。

ネットや通話料金が欧米に比べて割高、また欧米で無料通信が研究されている

40

## 【課題を解決するための手段】

声やデータをパケットと呼ばれるデータの固まりに小分けし、交換機より格安のルーターやルーター内蔵の携帯電話、PHS、付属品でネット通信を行なう。

GPSのデータを送信して第三者にデータを確認させ衝突事故を防ぐ。

## 【作用】

無料通信により迷惑メールによる損害を防げる。

GPSのデータを送信する事により衝突事故を防ぐ事が出来る。

## 【発明の効果】

アメリカでも無料通信の事が考えられているので国際競争で遅れを取らない。交通事故や海難事故を未然に防ぐ事が出来き、保険会社の利益が上がり、また経済効果にも寄与する

50

【図面の簡単な説明】

【図 1】携帯電話と各基地局によるネットワークの図

【図 2】交通機関のGPS情報を中央処理コンピュータに送信し、中央処理コンピュータから事故回避情報を各交通機関のコントロールシステムに送信する図

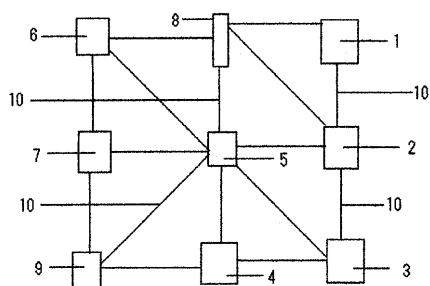
【符号の説明】

- 1 自動車
- 2 バス
- 3 国家機関のネット監視機関
- 4 コンビニ
- 5 IP携帯電話
- 6 一般家庭
- 7 郵便局
- 8 電信柱
- 9 デパート
- 10 無線ネットワーク
- 11 自転車
- 12 歩行者
- 13 飛行機
- 14 ヘリコプター
- 15 船
- 16 未来の飛行体
- 17 中央処理コンピュータ
- 18 GPS情報の送信と事故回避情報の送信

10

20

【図 1】



【図 2】

